



鳥取県 / 麒麟獅子舞



鳥根県 / 榎の屋神楽



徳島県 / 津田の盆踊り



香川県 / 宇多津鹿島踊り



愛媛県 / 雨乞い踊り



高知県 / 赤野獅子舞



広島県 / 桑田神楽



岡山県 / 横仙歌舞伎



山口県 / 赤崎神社楽踊



鳥取県 / 日南のかしら打ち

第67回中国・四国ブロック

民俗芸能大会

- ① 鳥根県 / 榎の屋神楽
- ② 岡山県 / 横仙歌舞伎
- ③ 広島県 / 桑田神楽
- ④ 山口県 / 赤崎神社楽踊
- ⑤ 徳島県 / 津田の盆踊り
- ⑥ 香川県 / 宇多津鹿島踊り
- ⑦ 愛媛県 / 雨乞い踊り
- ⑧ 高知県 / 赤野獅子舞
- ⑨ 鳥取県 / 麒麟獅子舞
- ⑩ 鳥取県 / 日南のかしら打ち

入場料無料
申し込み不要

令和7年 10月26日 日

開演10:00 (開場9:30 / 終演予定15:30)

とりぎん文化会館 梨花ホール

鳥取県鳥取市尚徳町101-5



大会情報は
コチラから

主催 / 第67回中国・四国ブロック民俗芸能大会実行委員会、鳥取県、鳥取市

助成 / 文化庁

協力 / 一般社団法人麒麟のまち観光局

協賛 / 全国民俗芸能保存振興市町村連盟

後援 / 公益財団法人鳥取県文化振興財団、NHK鳥取放送局、日本海テレビ、BSS山陰放送、TSKさんいん中央テレビ、日本海ケーブルネットワーク、いなばびよんびよんネット、新日本海新聞社、読売新聞鳥取支局、山陰中央新報社、朝日新聞鳥取総局



令和7年度文化庁補助事業



お問い合わせ / 鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課 電話 0857-26-7525

島根県

つぎや 楓の屋神楽 / つぎや 楓の屋神楽保持者会



島根県東部に位置する雲南市では、木次町湯村の楓の屋地区を本拠地とする楓の屋神楽が伝承されています。同地は、素戔嗚尊が八岐大蛇を退治したとされる斐伊川の上流にあり、その伝説の地に継承されてきた神楽です。昭和37年に島根県指定無形民俗文化財に指定されました。演目「八戸」は、伝説にふさわしい雰囲気と迫力、さらに優美で幽玄な舞として評されています。また大蛇は、昔舞われていた古式大蛇を令和4年に復活させたものです。

岡山県

よこせん 横仙歌舞伎 / よこせん 横仙歌舞伎保存会



岡山県奈義町に江戸時代末期より残る伝統芸能「横仙歌舞伎」は農村の娯楽の「地下芝居」で、昭和41年に発足した「横仙歌舞伎保存会」により継承され、昭和51年に岡山県重要無形民俗文化財に指定されました。奈義町では2名の専門職員を採用し、公演の裏方や事務、義太夫三味線を通じて活動のサポートを行っています。また、後継者育成として小中学生対象の「子ども歌舞伎教室」を開講。子どもたちの愛らしくも大人顔負けの演技は、人気的一幕として観客を魅了。

広島県

くわた 桑田神楽 / くわたてんし 桑田天使神楽団



広島県安芸高田市美土里町に伝わる桑田神楽は、文政2年(1819)の記録も残る伝統ある神楽で、昭和29年に広島県無形民俗文化財に指定されました。代表的な演目「神降し」は、舞殿を清める祓いの舞、舞殿に神々を勧請する降神の舞の二段を、古来の作法どおり荘重に舞います。

地元住民を中心とする桑田天使神楽団は、大会出演や後継者育成に力を入れるなど、地域と一体となって伝統ある神楽の普及・継承に取り組んでいます。

山口県

あかさき 赤崎神社楽踊 / あかさき 赤崎神社楽踊保存会



慶長元年(1596年)に山口県の北浦一帯に牛馬の悪疫が流行した際、赤崎神社に平癒を祈願したところ、その願いが叶い、神様に対する感謝として踊りを奉納したのが始まりです。以後、毎年9月の例大祭に奉納するようになり、400年以上続いています。

頭に着けた花が飛び跳ねる度に揺れる様や陣笠をかぶり、大小の剣を腰にさした団扇遣いが大団扇をかかげてさばく様は、とても躍動的で見ごたえがあります。

徳島県

つたばに 津田の盆踊り / つたばに 津田の盆踊り保存会



紀伊水道に面する港町である徳島市津田地区に伝わる「津田の盆踊り」は、海で遭難した人々に捧げる死者鎮魂の精霊踊りで、阿波おどりの原型の一つともされています。沖に向かって「お父もんでこーい」と繰り返される涙声にひかれて浜辺に還る新仏を待ち、しめやかに踊りだします。平成14年(2002)に県無形民俗文化財に指定され、お盆以外にも地域の祭りや学校行事で披露されるなど、津田の盆踊り保存会が継承活動に精力的に取り組んでいます。

香川県

うたづかしま 宇多津鹿島踊り / うたづかしま 宇多津鹿島踊り保存会



宇多津鹿島踊りは香川県綾歌郡宇多津町に伝承される盆踊りで、その始まりは、承応4年(1655)の飢饉に際し、宇多津の人々が悪霊を村の外へ送り、各村々ではこれを隣村に送り、阿波の境まで踊りが続いたという記録にあるとされます。坂出市から丸亀市の一部にかけては島踊りと呼ばれる同様の盆踊りが伝えられ、唄の合間に「アラドッコイセチヨイトセ」「ソリヤレコリヤセエノヨイヤナ」の掛け声と共に踊るといった特徴があります。

愛媛県

あまこい おど 雨乞い踊り / あまこい おど 上島町雨乞い踊り保存会



雨乞い踊りは、瀬戸内海特有の雨が少ない気候に悩まされ、弓削島では戦後まで踊られてきました。昭和56年に旧弓削町無形民俗文化財に指定されました。現在では、成人会員が指導者となり、小中学生を会員として伝承活動を行い、6月から毎月第1、第3水曜日の午後6時から1時間、小学校の体育館で練習しています。今日は、昨年度末に新調した旗、大太鼓、小太鼓の初披露の場となりました。

高知県

あかの 赤野獅子舞 / あかの 赤野獅子舞保存会



赤野獅子舞は、高知県東部に位置する、安芸市赤野に600年以上続く伝統芸能です。コロナ禍で中断していた奉納を2023年に復活させることができ、地域内外の子どもたちが活動に関わるようになり、活動が活発になってきました。最近では、祭り以外の場でも演舞の依頼をいただくことが増えており、地域を越えて多くの方に赤野獅子舞を知っていただく機会が広がっています。

鳥取県

にちなん 日南のかしら打ち / たり 多里かしらうち保存会



「かしら打ち」とは太鼓を打つこと、または打ち鳴らす役にあたる人を意味しており、日南町を含めた中国山間地の文化交流の証を示す県内で貴重な民俗文化財として、平成17年に鳥取県無形民俗文化財に指定されました。

多里のかしら打ちでは数基の大太鼓を並べ、太鼓1基につき着飾った4人の打ち手が踊りながら派手な撥さばきで太鼓を打ちます。打ち手は前後に飛んだり、入れ替わったりと大きな動きをすることが特徴です。

鳥取県

きりんじしまい ひじり 麒麟獅子舞 / ひじり 聖神社宮元獅子舞保存会



麒麟獅子舞は、神社祭礼日である5月第3土・日曜日に行われる春例祭、9月18日の秋例祭で披露されます。酒好きの「狸々」と「麒麟獅子」による本舞は、狸々が鉦の音で動きはじめ、鉦、太鼓、笛の音にのせた獅子舞の後、再び狸々が獅子を誘導して舞を終えます。麒麟獅子の舞は静止した姿に見えても少しずつ動くゆったりとした舞が特徴で、狸々は、酔っぱらった雰囲気を表しつつ、獅子を招くときはメリハリのある動きを見せます。